

	項目	素案検討委員からの意見
A グ ル ー プ	検討の進め方 考え方	できるだけ早急に。新しい仕組みを作るチャンス。
		担保されるべきものが担保されれば、大多数の方は納得するのでは。その上で細かい意見を聞いていけばよい。
		反対意見もあるが、反対という選択肢はないことを前提にしないといけないのでは。子ども達はどう考えているか。デスカッションをしたらどうか。色々な立場の方、色々な場での話し合いを持つことが必要。
		関心を持ってもらうにはどうしたら？←再編の期間が決まれば自分事になる人が増える。
		一斉に再編を行うのは無理だと思う。(段階的な再編)
	規模について	都会の子供と同じ環境に近いと考えればクラスの人数が増えるのは当然だと思う。子どもが少なくなった以上統廃合は仕方ない
	通学区について	学校の再編だけでなく、通学区の見直しもこの際した方が良いでしょう気がする。
	地域との 関わり	探究の学びと進化している。地域ながらではの学びを行っている。一方で地域で議論したり話し合ったりすることが無くなってきているように思う。 地区・地域コミュニティの見直し
子どもへの配慮	児童のための再編	
財政	スクールバス経費は？	
B グ ル ー プ	検討の進め方 考え方	再編はやむを得ない。再編の進み方も含めて情報を早く。
		大人だけではなく、こどももしっかり話して決めていきたい。
		歴史や文化は大切だか、ほかの方法も考えられるのでは 再編のメリット、デメリット明確に
	教育について	これからの中心的な教育活動となっていく「探究」を充実させていくなどはどうしていくべきか
		学校数や一校の人数よりもどのような教育を進めていくについて大切に考えたい
		学校で何を学ぶのかそのための再編を考えたい
	規模について	1学年複数学級があることが望ましい ある適度規模の中で学ばせたい
		通学について
地域との 関わり	地域の方との交流は続けていきたい。地域ぐるみの子育て大事。 学校と地域の連携が「より充実していく」という視点は大切にしたい。	
	保育園、中学校	
その他	再編して新しい学校になり、子どもが新しい環境に慣れるのか心配	
C グ ル ー プ	再編について	財政面から学校再編を考えた方がよい。
		子どもの未来を一番に考えるべき、地域の思いや高齢者の意見がどうしても強いのがずっと気になる。
		学校再編について全く知らない若い親世代もいるのが気になる
		教育の費用対効果を示すことの難しさ
		学校の再編を知ったら茅野市に住まなくなる 再編の理解を深めてほしい
	教育について	学校の教員は、たとえ子どもが一人の学校であっても、そこに子どもがいる限り全力を尽くします。 色々な体験が大事 教育環境をどう組み立てていくか
		選べる学校(自由選択)は、自分の行きたい学校へ行けるが、学校側は大変。
		財政について
	規模について	多様な考えや行動の中で育つ子ども。集団で生活する大切さ。 クラス替えが出来るように最低でも2クラスは必要か 学び 大きいからいいのか、小さいからいいのか
		通学について
地域との 関わり	保護者が見えていないところもある。地域の声、協力も必要。 地域との関係性が薄くなるのが課題	